

横谷溪谷～ハ子ヶ峰 「秋の心身に良いトレッキング」

日程：2015年11月3日（火）～4日（水）

メンバー：男子3名+女子5名

報告：星野

内気な性格で何事にも中々手を上げる事ができません。心優しい先輩にお声をかけて頂き、先月に続いて再度ご一緒させて頂きました。

2台の車で東京発、高速走行中は割合静かだったのですが高速を降りるや秋景色に気分が高揚し、内気だが無口ではないので勝手に口がパクパクと動き弾丸発射。綺麗だね・・・

「蓼科自然農園」でワイワイと買い物をする。購入した鯉の腸の甘煮は珍品で中々入手困難との事ですが丁度入荷に居合わせゲット。日本酒に合うそうで今宵の皆の顔が浮かんでにんまり。

足元にかぼちゃ等野菜を転がしながら東山魁夷画伯「緑響く」のモチーフとなった御射鹿池（みしゃか池）着、大型バスで関西からの観光客が大勢きており「男女比8：2だよ」と云われて見回すと古嬢様達ばかり、心身とも健康でいられる秘訣かもしれません。

真っ青な空と小金色の落葉松が見事な駐車場で下車して心地よい落ち葉の道を5分ほど歩くと横谷観音堂。靴紐を習ったばかりの秘術で結び横谷峡へと下る。坂道は緩やかだが気が抜けない、初めて歩くコースはより慎重にと足元に気を配ると案の定、口が緩み喋り続ける。嬉しさが口に出るのは脳も幼稚に返っているのだろうか。



御射鹿池



霧降の滝

道標があり滝と遊歩道コースの二手に別れて歩く。王滝見学のあと峡谷の流れに沿いひんやりとした道を行くと道標で別れた組と再会し小休止。王滝の圧巻かと思いきや乙女の滝が物凄い！良く解らないけどマイナスイオン指数20000個/ccですって。乙女が王を越えた瞬間。横谷峡の滝は冬、ことごとく結氷するとの事、まさか乙女さんは凍るまい。あの豪快さを真冬でも御披露だろうか、圧巻だろうが寒くて確認には来られない。



乙女の滝



カラマツの黄葉

渓谷沿いは紅葉も又深緑も感嘆ばかり。今回は少々遅かったが白無垢前の鮮やかなグラデーションに幾度も立ち止まりシャッターを押す。なんと素敵だろう、なんと綺麗だろう。

私達を送りすぐ車を取に行き横谷峡入口まで回してくれて景観の良い場所を楽しみながら 2 台の車で蓼科の宿へ。落葉松の木立の中に佇むお洒落なお宿、今回御一緒の方の山荘だ。お世話になります。

ワイワイと夕食膳の用意をして一献、内気な私が打ち解けた一夜でした。

未明外に出ると降るような星、空をフォントサイズで拡大したような大きい星、友人を呼び外に出た途端流れ星、此処のところPCと格闘で首が固まっていたが天を仰いで心身のリハビリになりました。

翌日も晴天、八子ヶ峰を目指して女神茶屋駐車場から歩き始める。

西側からの登りはいきなり急坂だがヒュッテアルピレオまで登って視界に飛び込んできたのは素晴らしい展望。ハヶ岳、雪を載せた鎮魂の木曾御嶽山、南、中央アルプスを眺めながら草原のなかの東峰（1899m最高点）に着く。右手に聳える蓼科山の威容にやさしくウインクしながら白い頭を出している北アルプスを楽しみつつ中の峰着。休憩中「熊だ。」の声の方を見るとこれから歩く本峰への稜線を横切る小熊（中熊？）がいた。お願いだから早々にゆっくりと冬眠をしてください。

スキー場のリフト終点の少し先が本峰（西峰1833）。ここで集合写真を撮りスキー場をゆっくりと下る。



黄葉と朝霧



八子ヶ峰の途中

今回も途中で引き返し車を取に行ってくれたお二方の車に乗せて頂き白樺湖に立ち寄ると十代の頃、信州、蓼科、白樺湖、女神湖と清らかな名前に胸をときめかせながら現地を訪れた半世紀も前の事をふっと思い出したが景色の記憶が戻らない。



朝霧と静かな御嶽山



蓼科山



八子ヶ峰山頂



北アルプス

ビーナスラインの展望の良い所で車を止めて買って遠近の山の装いを幾度も楽しみながら富士見台着。駐車場（展望台）で富士に背を向けアルプス連峰を眺めながらの昼食、木曾御嶽山からは時々小さい噴煙が上がっている。

気分の良い時間を共有しながら帰路も「蓼科自然農園」にて野菜、果物の爆買い・・・主婦にはたまらない満足感を胸に高速に乗りました。

<コースタイム>

11月3日

八ヶ岳 PA で合流⇒蓼科自然農園⇒御射鹿池⇒横谷観音駐車場発⇒霧降の滝⇒乙女の滝⇒横谷峡入口駐車場着

11月4日

女神茶屋駐車場⇒八子ヶ峰東峰⇒八子ヶ峰本峰⇒スキー場を下降⇒蓼科自然農園